

●はなせ診療所そよかせ便りNO63

2015年12月内科 吉澤泰介

◎師走になりました。今年もあっという間の一年でした。

今年は二名の日本人がノーベル賞を受賞されました、アジアでも群を抜いています。その一人である大村智博士は寄生虫を研究されており、開発途上国の人たちを救う助けとなっています。大村博士は市井の研究者で、幼いころからおばあさんに、人の役立つことをしなさい。人のやってないことをしなさいと、言われていたそうです。これもひとえに時間も忘れて真摯に物事に取り組む、真面目な古き良き日本人の特性によるものと思います。ただ、今後もそのような人物が育つのか、とても不安です。例えば最近の若い医者が多くが、ドライで自分の趣味の時間を大切にすることを人生の目的にしているそうです。私のような昭和人間は、医者はそうではないだろうと違和感を覚えてしまうのです。資源がないこの国は、人材育成だけが、世界に伍していける道なのに、などと。

今回中国で始めてノーベル医学生理学賞を受賞されたのは、マラリアの研究者であるトゥ ユウユウ博士です。マラリアは今でも年間数十万人が命を落としています。女史は、東洋医学の古典である『肘後備急方 ちゅうごびちゅうほう』の中にある青コウという生薬に注目されました。この青コウの研究から、マラリアに効果のあるアーテミスニンという成分の抽出に成功されたそうです。

この発想の元は西暦3～4世紀に上記の古典を書いた葛洪（かっこう）です。著者は当時の限られた環境の中で、非常に柔軟な発想によってこの効果を発見したようです。

◎新型ノロウイルスについて

今年には新型のノロウイルスが流行し、一層感染し易くなっております。予防のために手洗いうがいを徹底して下さい。

また、ご家族様におかれましては、体調が悪い時には面会を自粛頂くようお願い致します。